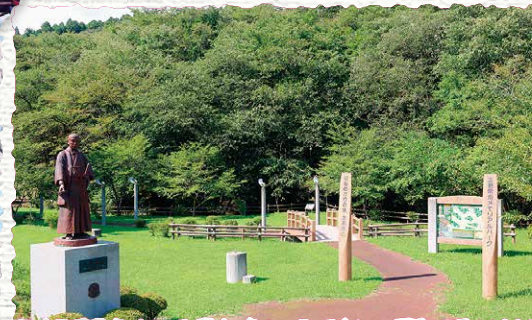


おおさと

未来を創り 育てるまち おおさと

町勢要覧



夢
から未来をはじめよう



夢限

【むげん】

ゆめかぎりなく

夢から未来をはじめよう

大郷町をより快適に安心して暮らせる場所にしたい

そんな願いを一つ一つの真心に込めて

私達は自然を大切に生きる未来を創造しています



発刊にあたって

私たちのふるさと大郷町(おおさとちょう)は、町土の7割を森林と農地が占め、豊かな広がりを見せる水田地帯には、春の田植え後の豊かな緑色から、収穫期の秋には黄金色のじゅうたんが夕焼けに映える田園風景を望むことができます。町を南北に二分して流れる吉田川には、冬の訪れとともに多くの白鳥が舞い降り、その旅立ちが春の息吹を感じさせてくれます。

また、宮城県の真ん中「宮城のへそ」に位置することから、交通アクセスの利便性があり、県内はもちろん県外に移動するにも便利な場所です。東北自動車道や三陸自動車道のインターチェンジに車で約10分、仙台空港にも約30分で行くことができます。

昭和29年に大郷村、昭和34年に大郷町となり、平成の時代を経た今、新たな「令和」時代の訪れとともに、50年後、100年後の未来を見据え、「夢限」(ゆめかぎりなく)の精神をもって「将来に幸福と希望が持てるまちづくり」に向け、「少年には夢を、青年には希望を、壮年には活力を、老年には生きがいを抱ける町」の創造・実践に取り組んでいます。先人各位が築き上げてきた礎に、私たちが新たな歴史を積み上げられるよう努めてまいります。

このたび、我が町の姿を紹介し、理解を深めていただくため「町勢要覧」を作成いたしましたので、ご覧いただくとともに、これからの大郷町のまちづくりにお力添えいただけたら幸いです。

令和元年7月

大郷町長 田 中 学



Contents

大郷町の四季

春	P3
夏	P5
秋	P7
冬	P9

施策の大綱

産業振興	P11
健康安心	P12
教育充実	P13
協働発展	P14

行政機関等一覧

大郷町マップ P17

おおさとの特産品 P19

おおさとのあゆみ P21

伝統芸能 P24

データで見るおおさと

町章	P25
町民憲章	P26

















産業のさらなる振興で活力のあるまち

01

恵まれた自然環境と都市近郊の立地条件を生かし、成長産業としての農業の活性化と6次産業化による農業総生産額の向上により、魅力ある農業を推進します。



02

井ヶ田製茶(株)との提携を生かし、道の駅を拠点に「大郷ブランド」の確立と地場産品のPRを推進します。



03

「割増商品券」の発行等により、既存商店の活性化を推進します。

04

立地企業の支援・育成と雇用創出のため企業誘致を推進します。



町

民が安心して暮らせる健康なまち



01

健康で生きがいのある生涯を過ごせるよう、「栄養・運動・休養・検診」の4つの柱を中心に保健事業を推進します。



02

いつでも安心して医療が受けられるよう、地域医療体制づくりを推進します。



03

障がい者が、住み慣れた地域社会の中で豊かな日常生活を送れるように支援体制の充実を図ります。

04

可能な限り健康を保ちながら自立した生活を送ることができるよう、一人ひとりの心身の状態に応じた介護予防事業を推進します。



教

育のさらなる充実で心豊かなまち

おゆうぎかい

01

「まちづくりは人づくり、人づくりは教育」であり、故郷の心を誇りにして、新しい時代を拓く「心豊かでたくましく生きる子どもの育成」を目標に幼・小・中一貫教育を推進します。



02

給食費の無償化と地場農産物の利用により、郷土を愛する心を育みます。



03

学校・家庭・地域が連携し、人間性豊かな心を持つ児童生徒の育成に努めます。

04

生涯を通じて、いつでも自由に学ぶことができるまちを築くため、家庭と地域の教育力向上に努めます。



協

働のまちづくりで持続的に発展するまち



01

まちづくりへの参画を促進するため、地域コミュニティの設立や活動を支援し、協働のまちづくりを推進します。



02

交通安全に対する運転者や歩行者の意識の向上を図るとともに、町民生活の安全確保のため、警察署・消防署等と連携し、防犯・防災体制を強化します。

03

廃棄物の広域処理により、資源循環型社会の形成を推進します。





04

子どもを産み育てやすい環境づくりと移住・定住促進のため、高校卒業までの医療費の無償化や出産祝金・住宅取得支援金の交付等、様々な支援に努めます。



05

町民の利便性と福祉の向上を図るため、町内および近隣自治体の公共交通機関、JR駅との接続を図り、利用者のニーズに対応した継続的かつ総合的な公共交通体系を目指します。



06

周辺的环境と調和した市街地の形成を図るとともに、レジャー・レクリエーションのための公園の維持管理に努めます。

行政機関等一覧

行政機関

施設名	電話番号	住所
大郷町役場（代表）	022-359-3111	粕川字西長崎 5 番地の 8
総務課	022-359-5500	
財政課	022-359-5501	
まちづくり政策課	022-359-5537	
まちづくり政策課（公民連携室）	022-341-3061	中村字馬場沢 20 番地
税務課	022-359-5505	粕川字西長崎 5 番地の 8
町民課	022-359-5504	
保健福祉課	022-359-5507	
農政商工課	022-359-5503	
地域整備課（建設）	022-359-5508	
地域整備課（水道）	022-359-5509	
地域整備課（下水道）	022-359-5516	
会計課	022-359-5506	
学校教育課	022-359-5514	
議会事務局	022-359-5513	
農業委員会	022-359-5517	
保健センター	022-359-3030	粕川字西長崎 31 番地の 7
社会教育課（B&G 海洋センター）	022-359-2982	中村字屋舗 65 番地の 2
文化会館	022-359-3960	中村字屋舗 8 番地の 19
中央公民館	022-359-5515	粕川字西長崎 5 番地の 8
学校給食センター	022-359-2552	中村字北浦 58 番地の 1
乳幼児総合教育施設（すくすくゆめの郷）	022-359-8288	粕川字新 30 番地
フラップ大郷 21	022-359-5326	中村字北浦 58 番地の 1
町民体育館	022-359-3129	中村字東浦 21 番地
ふれあいセンター 21	022-359-2678	味明字原下 15 番地
老人ふれあいの家「心郷」	022-359-5533	東成田字北沢山 2 番地の 29

教育機関

施設名	電話番号	住所
大郷中学校	022-359-2042	粕川字東長崎 3 番地
大郷小学校	022-359-2003	中村字屋敷前 98 番地
大郷幼稚園	022-359-8288	粕川字新 30 番地
大郷保育園	022-359-5655	粕川字新 30 番地
子育て支援センター	022-359-5755	粕川字新 30 番地
児童館	022-359-2167	中村字屋敷前 97 番地の 1
大松沢社会教育センター	022-359-2982	大松沢字旅籠屋 9 番地



大郷町 マップ

大郷町は宮城県のほぼ中央に位置し、仙台から車で40分程度の都市近郊にあり、自然に恵まれた豊穡の地です。町の中央部を吉田川が流れ、優良な田園地帯が広がり、気候も温暖で過ごしやすく恵まれた環境にあります。夏にはホタルが舞い、白鳥の訪れが冬を知らせてくれます。





道の駅おおさと

入り口前にある赤いトラクターが目印の「道の駅おおさと」は、新鮮な地元野菜やずんだなどの名物で目白押しです。フードコートは地元のとれたて牛乳を使ったソフトクリームなど、地場産品を利用したメニューがたくさんあります。2階にはキッズコーナーもあり、家族みんなで楽しめます。

支倉常長メモリアルパーク

伊達政宗の命を受け、サン・ファン・パウティスタ号でローマへと渡った支倉常長。江戸時代に常長が身を隠していたのが、大郷町だと言われています。公園内には常長の銅像が凛々しく鎮座し、来園者を迎えます。奥には墓標もあり、全国から足を運ぶ人も多い歴史スポットです。



ゴーゴー 郷郷ランド

子どもたちに大人気のアスレチックの船形遊具「やんちゃ丸つねなが」が特徴の公園です。天気の良い日は、芝生の広場を使ったり、遊具を楽しんだりする子どもたちにぎわっています。



パストラル 「縁の郷」

宿泊しながら農業体験や地元の人たちとの交流を通して、モロヘイヤの摘み取りやさつまいも掘り、そば打ち体験などのグリーン・ツーリズムが体験できます。





おおさとの米

自然豊かなおおさとで、大地の恵みを受けながら丹精込めて生産した良質米です。



日本酒「郷のむすめ」

農家の誇りと杜氏の技によって醸し出される格別な日本酒です。

【おおさとの

米粉シフォンケーキ

大郷産の材料にこだわり米粉・卵・牛乳などすべて地場産品を使っています。



さをり織

さをり織はそれぞれの持つ個性や感性を織り込む（差異を織る）というのが由来です。



道の駅おおさとに並ぶ たくさんの特産品



道の駅おおさとには、大郷で採れた新鮮な野菜や近隣市町村の特産品、お酒などが数多く取り揃えられています。また、大郷の地場産品を使ったレストランや、町内の牧場で採れた牛乳を使用したソフトクリームなど、フードコートも充実しています。



モロヘイヤ

エジプト原産の野菜モロヘイヤはカルシウムや鉄分が多く含まれ、「野菜の王様」とまでいわれる栄養豊富な野菜です。生麺・乾麺、まんじゅう、せんべいなど加工品のメニューは多彩です。



ずんだ

宮城県の名産としても知られる“ずんだ”。タンパク質や食物繊維、ビタミン類が豊富でヘルシーフードとしても知られています。

松島ビール

「ヘレス」「ヴァイツェン」「デュンケル」「ボック」4種それぞれに味わいのあるビールです。



特産品



大郷風味噌 「やまんばみそ」

農家さんの知恵から生まれたやまんばみそは味噌を一切使っておらず、ピーマンと発酵食品の米麹をベースに甘辛く仕上げた商品です。

餅

おおさとで育ったもち米「みやこがね」「うるちまい」を使用したこだわりの餅です。



井ヶ田製茶株式会社との コラボ商品



伊達おかき
葉わさび

プリン
ミルフィーユ



プリン
ダックワーズ

- 1986年(昭和61年) 8月 関東・東北地区で豪雨、町内に
大被害(8・5豪雨)
- 1988年(昭和63年) 4月 総合運動場落成
- 1990年(平成2年) 3月 公共下水道事業に着手
8月 大郷町長に鈴木直氏就任
大郷大橋開通
12月 武田壽雄氏を名誉町民に推戴
- 1991年(平成3年) 12月 中村バイパス開通
- 1992年(平成4年) 3月 築館公園開園
5月 粕川小学校体育館火災
7月 郷郷ランド開園
- 1993年(平成5年) 4月 大郷ふるさとプラザ落成
- 1994年(平成6年) 7月 一部地区で公共下水道供用開始
- 1995年(平成7年) 4月 黒川高校大郷分校が黒川高校
大郷校となる
- 1996年(平成8年) 7月 支倉常長メモリアルパーク開園
8月 ふれあいセンター 21落成
- 1997年(平成9年) 9月 大郷町長に田中学氏就任
- 1998年(平成10年) 3月 町立歯科診療所・大松沢診療
所閉所
5月 保健センター・学校給食
センター落成
- 1999年(平成11年) 3月 場外舟券売り場「ポートピア
大郷」オープン
7月 フラップ大郷21落成
8月 合併45周年記念モニュメント
「絆」建立
タイムカプセル埋設
(2024年開封)
- 2000年(平成12年) 7月 大松沢出張所廃止
住民バス運行開始
10月 粕川地区農業集落排水事業
供給開始
- 2001年(平成13年) 10月 みやぎ国体ハンドボール会場
となる
- 2002年(平成14年) 4月 パストラル縁の郷落成
- 2003年(平成15年) 4月 すくすくゆめの郷落成
(統合幼稚園・保育園併設)
黒川消防署大郷出張所移転
7月 宮城県北部連続地震発生
(M6.2)
- 2004年(平成16年) 4月 大郷町放課後児童クラブ開設
10月 場外馬券発売所「オフト大郷」
オープン
合併50周年記念植樹

昭和60年
文化会館
落成



昭和63年 総合運動場落成



平成2年
大郷大橋
開通



昭和61年
8・5豪雨

- 2004年（平成16年）11月 合併50周年記念櫻井美次翁
頌徳碑移設
- 2005年（平成17年）4月 全世帯へ防災無線設置
- 2006年（平成18年）3月 第二次新長期総合計画を策定
- 2008年（平成20年）3月 明星中学校・大松沢中学校閉校
4月 大郷中学校開校
6月 岩手・宮城内陸地震発生
7月 県消防操法大会において大郷
消防団優勝
11月 大郷中学校校歌制定
- 2009年（平成21年）3月 黒川高校大郷校閉校
9月 大郷町長に赤間正幸氏就任
- 2011年（平成23年）3月 東北地方太平洋沖地震
（東日本大震災）発生（M9.0）
- 2012年（平成24年）3月 大谷小学校・味明小学校・
粕川小学校・大松沢小学校
閉校
4月 大郷小学校開校・校歌制定
9月 放課後子ども教室「郷子舎
（さところや）」開設
- 2013年（平成25年）10月 大郷町観光PRキャラクター
『常のモロ』誕生
- 2014年（平成26年）4月 「常のモロ」を大郷町観光
PR特命係長に任命
- 2015年（平成27年）3月 大郷町総合計画を策定
9月 関東・東北豪雨発生
- 2016年（平成28年）1月 大松沢社会教育センター
落成
- 2017年（平成29年）3月 住民バス利用者
100万人達成
4月 大郷町児童館落成
9月 大郷町長に田中学氏就任
- 2018年（平成30年）6月 鶉崎地区「恵の丘」分譲
開始
- 2019年（平成31年）3月 町営住宅「高崎団地」
16戸完成
（令和元年）5月 大郷町地方創生推進連携
協議会設立
6月 合併65周年記念特別巡回
ラジオ体操・みんなの体
操会開催

平成20年
大郷中学校
開校



平成29年
児童館
落成式

平成23年
東北地方
太平洋沖
地震



平成24年 大郷小学校開校



宮林神楽

土橋に伝わる神楽は二渡神社の奉納神楽として、明治になるまで社家藤倉氏および社人によって伝えられ、門外不出として一般の人は関わりを持っていませんでした。山伏神楽の長所を取り入れたり、独自のものを加えるなどして、「南部神楽三輪流」として藤倉家を中心とする人たちにより伝えられています。



大郷の**伝統**を
未来へ繋ぐ

羽生田植踊

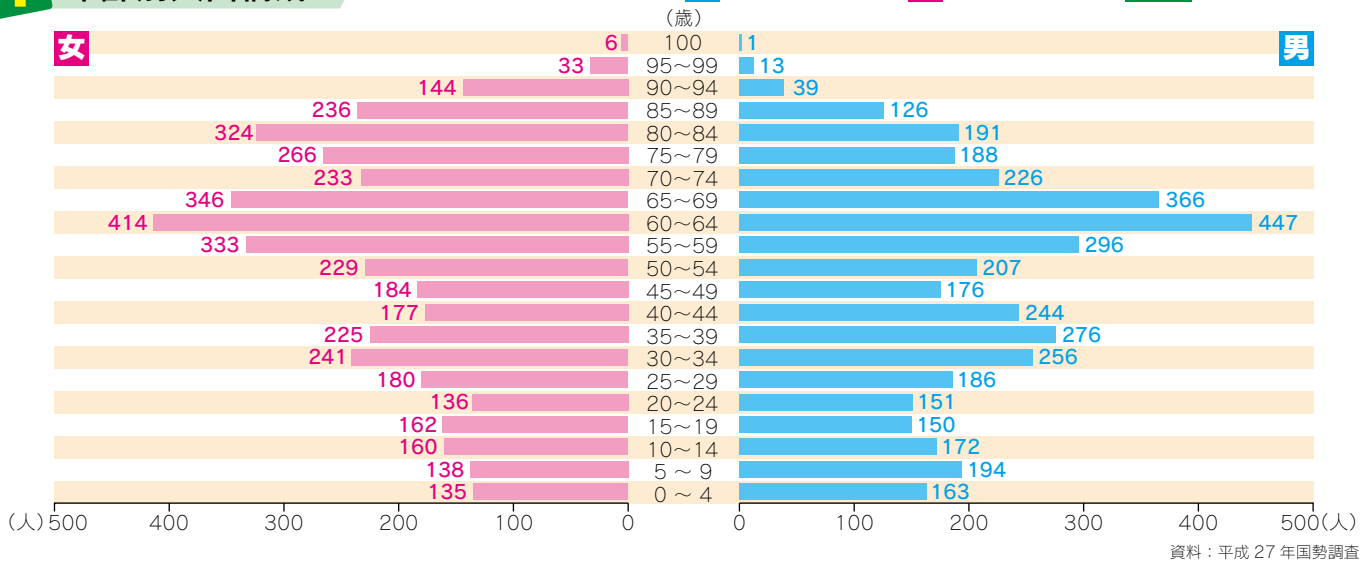
羽生に伝わる田植踊は文献等にも詳しくは出ていませんが、古老の口伝えによれば少なくとも500年は昔のものと言われています。本来は実際、田植えに合わせ唄い、踊ったのですが、いつのころからか羽生にある氏神様「天満宮」に豊作を願い、年始めに奉納するようになりました。



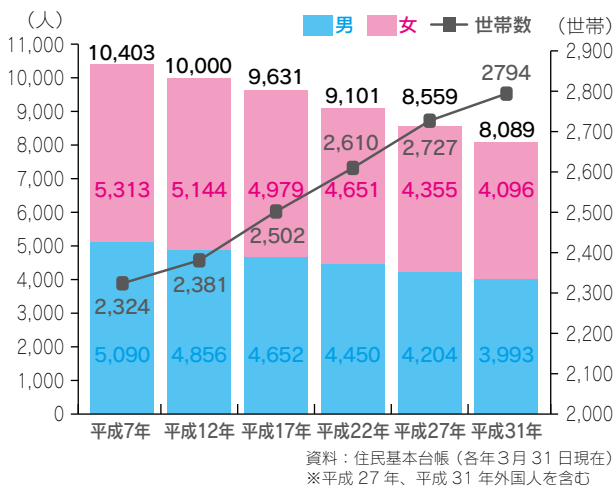
データで見るおおさと

1 年齢別人口構成

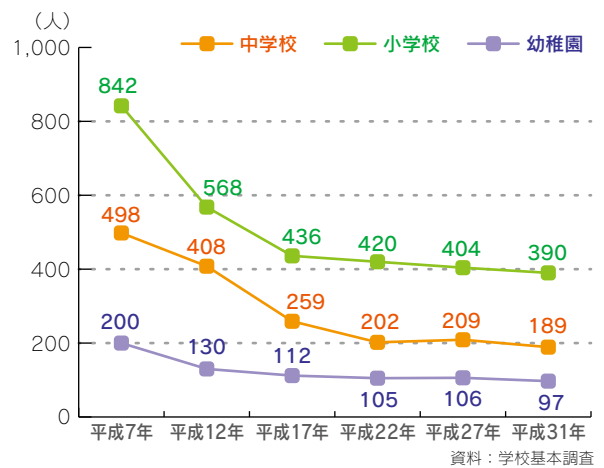
男 4,068人 女 4,302人 合計 8,370人



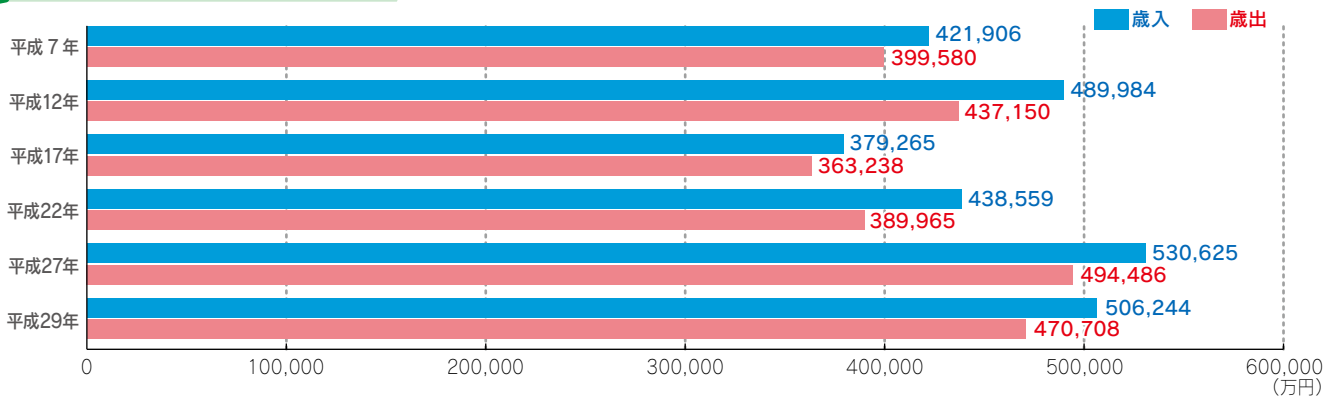
2 人口・世帯数の推移



3 園児・児童・生徒数の推移



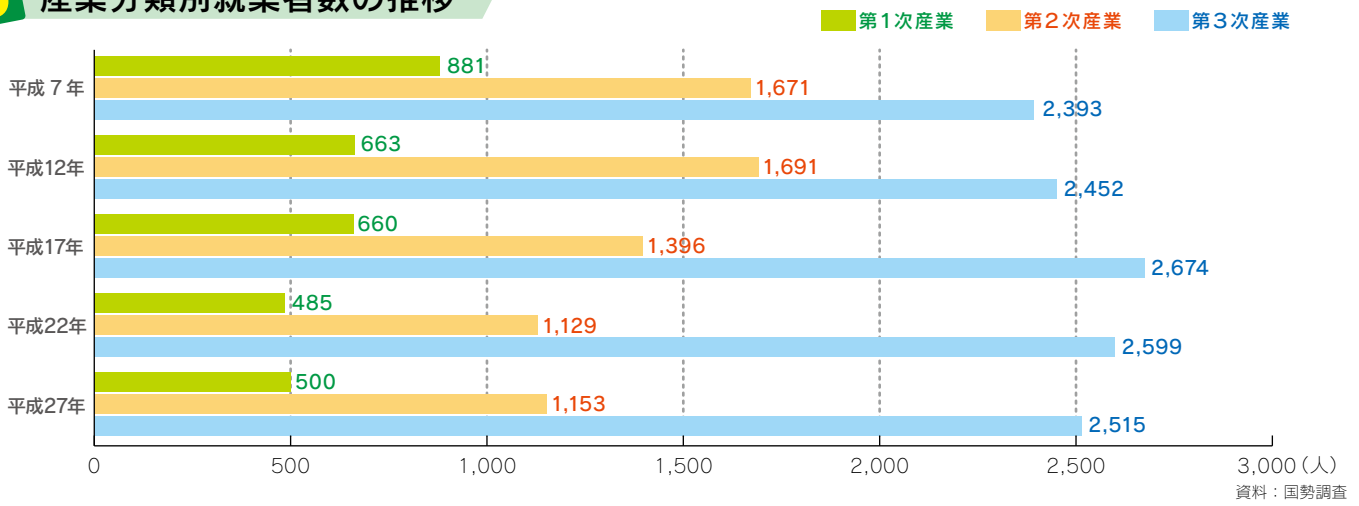
4 一般会計決算額の推移



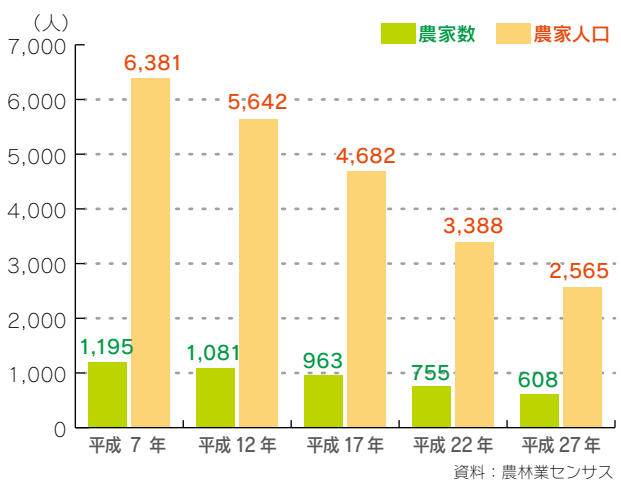
町章 (昭和42年4月24日制定)

大郷を圖案化し、円状の星は旧三カ村(大谷・粕川・大松沢)の合併を表すとともに、大郷の大を表形し、限りなき発展向上、隆昌を意味し、胴体の円は人の和、すなわち円満を、空間は住みよい「郷」を表現したものです。

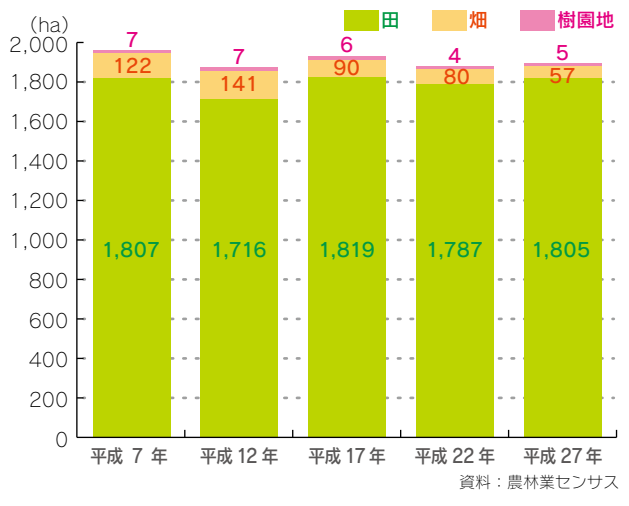
5 産業分類別就業者数の推移



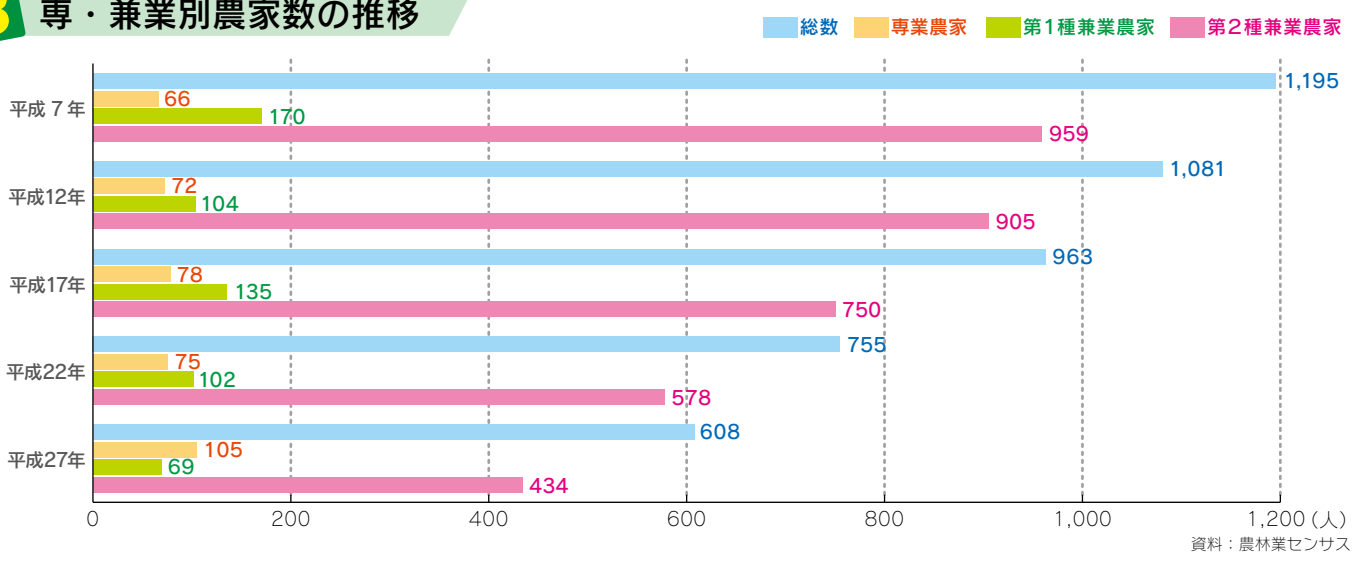
6 販売農家数の推移



7 耕地面積の推移



8 専・兼業別農家数の推移



町民憲章 (昭和59年7月1日制定)

わたくしたちは

- 思いやりとあたたかい心がはぐくむ住みよい町をつくります。
- 情操と創造力にみちた教育と文化の町をつくります。
- すすんでまわりを守り互いに助けあう和の町をつくります。
- 働くことに喜びをもち活力ある豊かな町をつくります。
- 伝統と自然を守り快適な環境と健康の町をつくります。



町花 つつじ



町木 まつ



町鳥 かっこう

(昭和52年7月1日制定)

町勢要覧

発行／宮城県大郷町

〒981-3592 宮城県黒川郡大郷町粕川字西長崎5-8
TEL:022-359-3111 FAX:022-359-3287
<http://www.town.miyagi-osato.lg.jp>
e-mail:kikaku@town.miyagi-osato.lg.jp

発行日／令和元年7月

企画・編集／大郷町まちづくり政策課

制作・印刷／有限会社中村印刷